

# 小学校教諭一種免許課程に係る教科目

【教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目】

免許法施行規則に定める科目及び単位数		左記に対応する本学における開講科目					
科目	単位数	科目名	授業方法	開講タイム	単位数	カリキュラム本学	備考
日本国憲法	2	日本国憲法	T	奇	2	○	
体育	2	体育実技 A	S		1	△	体育実技 A または体育実技 B いずれか一方を含む 2 単位以上
		体育実技 B	S		1	△	
		レクリエーション論	S		2	△	
		健康科学論	T	奇	2	△	
外国語コミュニケーション	2	英語 I	T	奇	2	△	
		英語 II	T	奇	2	△	
		英語コミュニケーション I	S		2	△	
		英語コミュニケーション II	S		2	△	
		リスニング	M		2	△	
情報機器の操作	2	情報処理基礎 I (機器操作を含む)	M		2	○	

【教科及び教職に関する科目】

免許法施行規則に定める科目及び単位数		左記に対応する本学における開講科目									
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位数	科目名	授業方法	開講タイム	単位数	カリキュラム本学	実習要件	備考		
第 2 欄	教科に関する専門的事項	30	国語 (書写を含む。)	T	偶	2	5 科目 10 単位以上	4 科目 8 単位以上			
			社会	T	奇	2					
			算数	T	偶	2					
			理科	T	奇	2					
			生活	T	偶	2					
			図画工作	T	奇	2					
			家庭	T	奇	2					
			体育	T	偶	2					
			外国語	T	偶	2					
			音楽	T	奇	2					
	音楽実技 I A	S		1	4 科目 8 単位以上	各教科の指導法は、テキスト科目(T)又はテキストスクーリング科目(TS)のいずれかが選択できる。ただし、実習要件の4科目8単位以上は、TS科目で単位修得するよう努めること。					
	音楽実技 I B	S		1							
	教科及び教科の指導法に関する科目 (情報通信技術の活用を含む。)	30	30	国語 (書写を含む。)	T	偶	2	4 科目 8 単位以上	○		
				社会	T	奇	2				○
				算数	T	偶	2				
				理科	T	奇	2				
				生活	T	偶	2				
				音楽	T	奇	2				
				図画工作	T	奇	2				
				家庭	T	奇	2				
体育				T	奇	2					
外国語				T	偶	2					

免許法施行規則に定める科目及び単位数		左記に対応する本学における開講科目							
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位数	科目名	授業方法	開講タイム	単位数	カリキュラム本学	実習要件	備考
第 3 欄	教育の基礎的理解に関する科目	10	教育学概論	T	偶	2	○	○	
			教職論	T	偶	2	○		
			比較教育制度論	T	偶	2	○		要2科目履修
			学校安全	T	奇	2	○		
			教育心理学	T	奇	2	○		
			発達心理学	T	奇	2	△		
第 4 欄	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	10	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	T	偶	2	○		
			特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	T	偶	2	○		
			教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	T	偶	2	○		
			道徳の理論及び指導法	T	偶	2	○	○	
			総合的な学習の時間の指導法	T	偶	2	○		
			特別活動の指導法	T	偶	2	○		
第 5 欄	教育実践に関する科目	7	教育の方法及び技術	T	偶	2	○		
			情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	T	偶	2	○		
			生徒指導の理論及び方法	T	奇	2	○	○	
			進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	T	奇	2	○	○	
			教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	T	偶	2	○		
			教育実習	S		1	○	事前のみ	
第 6 欄	大学が独自に設定する科目	2	教育実習 I (小)	S		2	○		
			教育実習 II (小)	S		2	○		
			教職実践演習 (幼・小)	S		2	○		
			心理学概論(こころの形成)	T	偶	2	△	※左記に掲げる科目のほか、最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」の単位をあてることができる。	
			心理学概論(こころの理解)	T	奇	2	△		
			子ども臨床心理学	T	奇	2	△		
子どもの心理学(総論)	T	偶	2	△					
子ども家庭福祉	T	奇	2	△					

※授業方法 [T:テキスト科目 / S:スクーリング科目 (対面授業) / M:スクーリング科目 (メディア授業) / TS:テキストスクーリング科目] を示します。

※スクーリング科目/テキストスクーリング科目の日程は、別紙「スクーリング科目開講予定表」よりご確認ください。

【実習要件について】

教育実習Ⅰ・Ⅱを受講するためには、実習実施予定の前学期末までに、教育実習要件科目○(3科目)及び「教科に関する専門的事項」から4科目8単位以上、「各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)」から4科目8単位以上を修得していること、教育実習指導(事前・事後)の事前指導を受講していることが必要です。